

# 見世 千賀子

MISE, Chikako



## [共同研究]

- 多文化共生社会における市民性の教育に関する研究プロジェクト

このプロジェクトでは、多文化共生社会において求められる市民的資質とは何かを検討し、かつそれを学校教育でどのように育成するのか、そのためのカリキュラム開発を行うことを目的としている。今年度は、東京都立小山台高校定時制課程における学校設定科目「市民科」のカリキュラム、授業実践を中心に検討し、報告書の作成を行った。

## [科研費等の研究]

- 科研費基盤研究 (C) 「多文化共生社会に向けた市民性教育モデルの構築に関する日豪比較研究」(平成24～27年度 研究代表：見世千賀子)

本研究は、オーストラリアにおいて、多文化市民社会の構築および見識ある行動的市民の育成に向けて、取り組まれているシティズンシップ教育の理論、政策、実践を明らかにすること、および、多文化化の進む日本の学校における多様性への対応と市民性の育成に向けた取り組みとを明らかにすることを目的とする。今年度は、オーストラリアのグローバル・シティズンシップ教育カリキュラム、実践の検討、および異文化間教育の検討を行った。

## [研究業績]

### 1. 論文等

- ① 見世千賀子編著『多文化共生社会における市民性の教育に関する研究プロジェクト報告書』東京学芸大学国際教育センター、2015年3月。
- ② 齋藤ひろみ・佐藤郡衛・野山広・浜田麻里・見世千賀子・南浦涼介「実践をまなごし、現場を動かす異文化間教育学とは？ーテーマ設定の趣旨と成果・課題ー」『異文化間教育』41号、異文化間教育学会、2015年3月。
- ③ 書評 坪谷ニューエル郁子著『世界で生きるチカラー国際バカロレアが子どもたちを強くするー』、『海外子女教育』7月号No.497、海外子女教育財団、2014年7月。

### 2. 学会発表等

- ① 齋藤ひろみ・佐藤郡衛・野山広・浜田麻里・見世千賀子・南浦涼介、異文化間教育学会・特定課題研究「実践をまなごし、現場を動かす異文化間教育学とは？ー趣旨と内容構成ー」異文化間教育学会第35回大会、同志社女子大学、2014年6月7日。

## [海外調査]

- 2014年7月、8月：オーストラリア・シドニーおよびメルボルン等での多文化教育および市民性教育、日本人学校、補習授業校等に関する調査。

## [講演会・研修会への参加]

- 文部科学省初等中等教育局国際教育課主催、平成27年度在外教育施設派遣内定者等研修会において、「これからの海外子女教育」というテーマで講演を行った。(2015年1月23日)
- 東京学芸大学附属大泉小学校、公開研究発表会「異文化間教育」部会講師 (2015年1月24日)

## [学内の活動]

- 第6回多文化共生フォーラム「多文化共生社会の市民性教育を考える」の企画・運営を担当した。(2015年1月31日)
- 『国際教育評論』の編集を担当した。

## [主な学会活動]

- 異文化間教育学会 (研究委員会委員)
- 日本比較教育学会
- オセアニア教育学会

## [教育活動]

- 東京学芸大学教育学部において「海外・帰国児童生徒教育論」、「異文化間教育」、「教職入門」の講義を担当した。
- 東京学芸大学大学院教育学研究科「国際教育演習C」の講義を担当した。
- 非常勤講師として青山学院大学教育人間科学部において「異文化理解教育」、武蔵野大学大学院において「比較教育研究」の講義を担当した。
- 東京学芸大学大学院教育学研究科学校教育専攻学校教育コース (比較・国際教育学領域) の院生2名の修論指導を担当した。
  - ・ 蔣旻「在日中国人家庭の子どもの『グローバル型能力』の育成に関する一考察」
  - ・ 田島宏一「小学校教育における汎用的能力の育成に関する研究ー体育科における批判的思考力の育成に焦点を当ててー」
- 東京学芸大学短期留学プログラム留学生1名の指導を担当した。
- この他、随時、本学および他大学の卒論・修論等の相談を受けた。

なお、2014年度は、4～9月まで、研究専念期間を頂いた。